



百折不撓



7月25日(土)26日(日)
サマーコンファレンス2009

2009年度
(社)鳥取青年会議所
会報誌 8月号

因幡

INNOVA [ina:va]
変革

「ピンチはチャンス」

理事長 水野 由久

7月21日に衆議院が解散され、8月30日には選挙があります。現在の日本は社会保障問題、経済政策、農業政策、少子化問題、環境問題、地方分権、外交問題等の大きな問題を抱えており、今回の選挙は今後の日本の方向性を決める上で重要な選挙であることは間違いありません。国民の政治に対する意識が高くなれば、レベルの高い政治家が生まれ、国民の政治に対する意識が低ければ、レベルの低い政治家によって、レベルの低い政治がまかり通ります。原点は政治家ではなく一人一人の国民の意識にあるのではないのでしょうか。「未来の笑顔は我が責務なり」です。この機会を絶好のチャンスと捉え、未来の日本を担う次世代の為に、真剣に日本の将来を考え一票を投じましょう。

また頻りに起こる自然災害も懸念されます。山口県や九州北部そして兵庫県での豪雨や静岡県を中心とした震度6弱の地震では、多くの死傷者が出ました。そして今年の夏ほど不順な天候は今まで経験したことがありません。日照時間が例年の約50%程度の地域もあるそうです。人類は地球上で生かされている生物の一種にすぎないという謙虚さを前提として、地球規模での「環境」と「経済」の好循環を真剣に考えなければならぬ時期にさしかかっています。

(社)鳥取青年会議所は8月から10月にかけて楽しみな事業が目白押しです。我々はこれから実施する全ての事業において、目先のものとらわれずしっかりと地域の未来を見据え、勇気をもってチャレンジしなくてはなりません。事業を実施する上で壁にぶつかることもたくさんあります。しかし、JC運動の大義を忘れず、逃げたくなく自分自身を律して最後まであきらめなければ必ず誰かに助けられます。そしてその経験は自分自身を大きく成長させる絶好のチャンスでもあります。絶好のチャンスは最大のピンチの顔をしてやってくると言います。残された時間を全力で戦いましょう。すべては「未来の笑顔」のために。

2009年度 日本JCスローガン

やさしくあるために、つよくなる

愛に満ち溢れたつよい J A Y C E E によるアドマイヤー型社会の実現「真日本建国」に向けて

2009年度 鳥取JCスローガン

未来の笑顔は我が責務なり

将来の因幡を担う今の子供達が大人になった時に、「因幡に生まれて良かった」と思うことのできるまちを創る責任を負って(社)鳥取青年会議所は活動します。



【百折不撓】ひやくせつふとう...何度の失敗にもめげずくじけず挑戦すること。「百折」は、何度も挫折すること。「不撓」は、くじけないこと。



後期研修会員 澤田 健吾

今回、残念ながら事業は当日実施することは出来ませんでした。がみんな仕事や自分の委員会が忙しい中、何度も話し合いに参加して頂き本当にありがとうございます。そしてこの事業に協力して頂いた皆様には本当に感謝しています。とても楽しく思い出に残る事業になりました。これからも「JC活動を通してたくさん思いの詰まった事業をやりたいと思います。」

後期研修会員 藤田 直也

僕たち後期研修会員は、8月9日のしゃんしゃん祭りで行う予定だった研修事業に向けて短い期間の中、一丸となり資料を作り、備品を作り、踊り方を練習し、時には意見をぶつけ合いながら、後は本番を待つばかりという所まで過ぎました。しかし、本番は雨により中止になってしまいました。正直、みんなで溜めた力を発揮できず、思い思いの残る初めての事業に、何ものにも変えることができない、研修会員同士の固い絆ができた、素晴らしい時間を過ごせました。



後期研修事業を終えて

後期研修会員 藤田 直也

8月11日(火)、8月理事会が行われました。審議案、協議案共、5議案づつ上程され、非常に貴重な意見

後期研修会員研修会事業

【8月理事会報告】

究極の田舎政策委員会
委員長 荒田 潤之介

8月11日(火)、8月理事会が行われました。審議案、協議案共、5議案づつ上程され、非常に貴重な意見

慶事報告

究極の田舎政策委員会 委員の縫谷吉彦君、新店舗改装オープン！おめでとうございます！

【本人のコメント】
8月7日(金)に国道53号線沿い、鳥取市青葉町のお店がセルフスタンドとしてリニューアルオープンしました。キャンペーン中は多くのメンバーの方にお越し頂き、誠にありがとうございました。24時間営業ですので、給油の際には是非お立ち寄り下さい。



【じゃがいも会】

OB・現役懇親じゃがいも会 開催のご案内

2009年9月27日(日)に鳥取カントリー倶楽部吉岡温泉コースにてOB合同じゃがいも会を行います。数少ないOBの皆様との交流の機会です。大勢の現役でお迎えしたいと思っております。ご参加宜しくお願ひします。

【青雀会】

7月28日(火)に行われた7月青雀会は、西垣直前が無念の欠席をされた為か、濱崎専務の大人げない大三元が炸裂！！しかし松本監事が会長の貫録でこれを制し、見事優勝されました。おめでとうございます！！

そして8月の青雀会は、下記の日程です。

開催日 8月25日(火)
場所 いつもの「式部」
時間 19:30~より

次回も多数のご参加お待ちしております！

今ページの詳しい内容につきましては、(社)鳥取青年会議所ホームページ内の会員専用ページをご覧ください。URL <http://torijc.main.jp>

「環光のまち因幡」推進運動

因幡の豊かな自然環境(ENVIRONMENT)と因幡の特徴を活かした環境保全活動(ECOLOGY)を観光資源として活用し、人と人の環を広めながら「環境」と「経済」が好循環するまちを創る運動です。

編集/発行/印刷：(社)鳥取青年会議所 広報委員会
鳥取市本町3丁目201番地 鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル4階 TEL：0857-24-1638
発行日：2009年8月19日



「撓」は、くじけるという意味。どんなに曲がってもなかなか折れない竹のような強靱かつ柔軟な精神を持って物事に取り組む事。

鳥取JCIしいたけの森プロジェクト

第二弾 大発見! しいたけの森にすむ色々な虫たちの巻

鳥取JCIしいたけの森 プロジェクト

第二弾 「大発見! しいたけの森にすむ色々な虫たちの巻」

因幡のグリーン政策委員会
委員長 野田 祐二



未だ梅雨が明けぬ空模様の中、多くの市民の皆さんに参加して頂き、鳥取JCIしいたけの森プロジェクトの第2弾が開催されました。残念ながら期待していたカブトムシなどは捕まえられ



ませんでした。普段なかなか出来ない体験に子供達の目は輝き、森とふれあい学んでいただき、想定外の状況での事業開催となりましたが、なんとか事業の目的には達したのかなと思います。当日は多くのメンバーの皆さまにご協力頂きありがとうございます。そして現在、秋の事業の収穫祭に向けて委員会準備を進めています。環境と経済の好循環するまちを目指して本年度の締めくくりとなります。皆様よろしくお祈りいたします。

鳥取JCI しいたけの森 プロジェクト

第二弾 「大発見! しいたけの森にすむ色々な虫たちの巻」

鳥取JCI しいたけの森 プロジェクト

因幡のグリーン政策委員会
副委員長 田中 里志



夏休み真っ只中の8月1日、鳥取市越路の鳥取JCIしいたけの森にて、しいたけの森プロジェクト・第二弾事業が開催されました。今年も例年になく梅雨が長引き、事業当日も午前中小雨が降り足下も悪くぎりぎりまで決行するか延期にするかという中で開催で、期待していた昆虫採集はクワガタが一匹!という残念な結果でありました。



しかしながら、参加した子供達の反応は、落ち葉の下に昆虫観察・デジタル紙芝居など、興味津々で熱中している場面もありましたので、全体としては楽しんで頂けたのではないかと感じました。普段、夜の森に接する事の少ない街の中のお子さん達に、暗くなった森の中で昆虫の生態に触れてもらった事は自然の楽しさを知って頂けたと共に森林保全の大切さも感じて頂けたと思います。御協力頂いたメンバーの皆様、そして県立博物館のスタッフの皆様のお陰をもちまして無事に事業を終える事が出来ました。誠にありがとうございました。



サマーコンファレンス2009



サマーコンファレンス 2009 を終えて

会員交流委員会
委員長 大月 理恵

去る7月25・26日と開催されたサマーコンファレンス。今年も例年と違い、参加しやすく費用を安くという事で、横浜との往復を飛行機ではなくJRに変更させて頂いていただきました。移動時間が長くなってしまいました。移動時間に仮眠を取れたり食事が出来たりと、なかなか楽しい旅路になったのではないのでしょうか。残念ながら選挙前という事もあり、パネリストなど予定していた多くの議員の方は、欠席となっております。大変有意義な時間を過ごすことができました。



ました。また突然のことに難なく対応され、完成度の高いフォーラム運営をしておられた日本青年会議所の凄さも感じました。会員交流委員会として、メンバーが希望するフォーラムに参加をしやすいようにスケジュール調整を行い、精一杯企画運営させて頂いていただきました。いかがでしたでしょうか。委員会メンバーと共に懇親会を盛り上げて頂いた研修会員や、お手伝い頂いたメンバーの皆様ありがとうございます。無事に二日間の日程を終えることができました。参加されたメンバーの皆様、最後までご協力いただきました。ありがとうございます。また事前準備より委員長を支えていただいた委員会メンバー、本当にありがとうございました。

サマーコンファレンスに参加して

総務委員会
副委員長 山本 祐之

私は青年会議所に入会してから毎年参加させていただいており、今回で3度目の参加となりました。今年も様々なセミナーに参加し、パネリストの方々の斬新な言葉にいろいろ考えさせられました。引率していただいた会員交流委員会の皆様、大変お世話になりました。

鳥取砂丘発
目指せ! 砂漠博士
ウオーケラリ
乾燥地研究センター

新生鳥取砂丘政策委員会
副委員長 平井 宏和

新生鳥取砂丘政策委員会の最初の事業として、8月29日(土)、「鳥取砂丘発 目指せ! 砂漠博士 ウオーケラリ in 乾燥地研究センター」を開催します。事業では未来を担う子どもたちをはじめ、多くの方々にアリドーム・乾燥地研究展示室など世界的な砂漠化研究に寄与する鳥取大学乾燥地研究センターの活動内容を、ウオーケラリを通して楽しく学んでいただきます。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。



鳥取JCI究極の田舎プロジェクト Part1 やつとり暮らし 研究会の立ち上げ

究極の田舎政策委員会
副委員長 木下 潤一

究極の田舎政策委員会では、現在、鳥取県人口60万人を割り、人口減少が進行している中、人口減少に歯止めを掛けるため交流人口や移住定住人口増加活動を意識すると共に産・官・学・民の連携、取り組みが必要と考え、「とっとり暮らし研究会」を立ち上げております。先日、「第2回とっとり暮らし研究会」を開催いたしました。今後も開催し色々な意見を頂きまとめ報告し、来年以降に繋げていきたいと考えておりますので宜しくお願い致します。